



NEW STAFF

新人自己紹介

相澤 雅子

あいざわ・まさこ

理論・計算分子科学研究領域
計算分子科学研究部門 事務支援員

昨年12月より、計算分子科学研究拠点にて事務支援員として勤務しております。非力ですが、僅かでも研究に貢献できるように最善を尽くしたいと思います。

昨春より愛知県に転居してきたので、仕事だけでなく岡崎についても知らないことばかりです。日々新鮮な気持ちで業務に取り組んでおります。

今秋の研究会に向けて何かとお世話になるかと思いますが、よろしく願いいたします。

Nie Qing-Miao

理論・計算分子科学研究領域
計算分子科学研究部門（名古屋大学大学院
工学研究科） 特任研究員

From Oct. 2011 to Jan. 2012, I was a Foreign Visiting Scholar at Nagoya University to conduct a cooperative research with Professor Masaki Sasai. In Jan.2012, I was appointed as a full-time researcher (CMSI researcher) at Institute for Molecular Science and as an Invited Researcher at Nagoya University.

Now I am developing highly parallelized computational codes to simulate the biological motor systems by using the K-computer system in Riken.

鹿野 豊

しかの・ゆたか

理論・計算分子科学研究領域
理論・計算分子科学研究部門
特任准教授（若手独立フェロー）

2012年2月に若手独立フェローという分子研の新しい制度で着任しました。今までの研究分野は量子基礎論という「もの」も「分子」も出てこない抽象的な世界であったため、分子科学に関しては門外漢です。これから今まで培ってきた道具立てを駆使し、不退転の決意でやってきた分子科学の研究の神髄に少しでも迫れたらと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

石崎 章仁

いしざき・あきひと

理論・計算分子科学研究領域
理論・計算分子科学研究部門
特任准教授（若手独立フェロー）

京都大学大学院理学研究科にて博士号取得後、カリフォルニア大学バークレー校／ローレンス・バークレー国立研究所にて日本学術振興会 海外特別研究員／博士研究員を経て、2012年3月1日付けで着任いたしました。光合成光捕獲系の機能解明を目指した理論研究を通して、指向性・応答性・自律性の分子科学（のようなもの）を拓きたいと夢見ています。よろしくお願い致します。

山本 浩史

やまもと・ひろし

物質分子科学研究領域
電子物性研究部門 教授

13年間勤めた理化学研究所を退職し、2012年4月1日付で分子研に着任しました。専門は電気を流す分子性物質の研究で、現在明大寺の実験棟5階で実験室の整備を進めています。研究場所が変わりましたので、色々と新しいことを吸収しつつ研究やマネジメントの幅を広げていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

秋山 修志

あきやま・しゅうじ

生命・錯体分子科学研究領域
生体分子情報研究部門 教授

京都大学にて学位取得後、理化学研究所播磨研究所、名古屋大学を経て、4月より分子科学研究所の教授に着任致しました。所内外との共同研究を通して、タンパク質時計研究のフロンティアを開拓していきたいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。

村橋 哲郎

むらはし・てつろう

生命・錯体分子科学研究領域
錯体物性研究部門 教授



2012年4月1日付で分子科学研究所に教授として着任しました。目前の課題、遠い課題のそれぞれを見据えながら、自分らしいアプローチで研究を進めていきたいと思っています。分子科学研究所の村橋をどうぞ宜しくお願いいたします。

許 斐 太郎

このみ・たろう

極端紫外光研究施設
電子ビーム制御研究部門 助教



総合研究大学院大学・加速器科学専攻で学位取得後、2012年4月に分子研UVSORに着任いたしました。博士課程までは高エネルギー実験のための加速器コンポーネントの開発研究を行っていました。分子研では分野の異なる方々と交流でき多くの刺激を得ています。UVSORでは放射光源加速器について学び、良い加速器・放射光源を作っていきたいと考えています。

どうぞよろしくお願いいたします。

湯澤 勇人

ゆざわ・はやと

光分子科学研究領域
光分子科学第三研究部門 IMSフェロー



名古屋大学で学位を取得後、4月より分子研小杉グループのIMSフェローとして着任いたしました。これまでは光触媒を用いた有機合成反応に関する研究を行ってきました。当研究室で取り扱う軟X線分光に関しては初心者なので、まだ分からないことが多いですが、本手法を触媒反応の機構解明に応用することを目指し努力していきたいと思っております。

よろしくお願い致します。

柳 浩太郎

やなぎ・こうたろう

岡崎統合バイオサイエンスセンター
生命環境研究領域 IMSフェロー



平成24年3月に大阪大学で学位取得後、同4月1日より岡崎統合バイオ加藤グループにIMSフェローとして着任しました。学生時代はアルツハイマー病やII型糖尿病の原因となるアミロイド線維を対象に、溶液NMRを用いて線維形成反応を研究していました。現在は超高磁場NMR装置を活用し、タンパク質や糖鎖の運動性解析を行っています。

よろしくお願い致します。

小若 泰之

こわか・やすゆき

光分子科学研究領域
光分子科学第一研究部門 研究員



京都大学にて学位を取得後、2012年4月1日より岡本グループの博士研究員として着任いたしました。これまでは、孤立分子の励起状態ダイナミクスの研究を行ってきました。今後、電子ビームリソグラフィ法を用いて作成したサンプルを、近接場光学顕微鏡を用い、測定と解析を通じて、プラズモン間の相互作用の解明を目指して研究を進めたいと思っております。

よろしくお願いいたします。

呉 慧 軍

Wu, Hui Jun

光分子科学研究領域
光分子科学第一研究部門 技術支援員



平成24年4月より、総合研究大学院大学物理科学研究科で博士後期課程を修了後、岡本グループで技術支援員として、お世話になっております。これまで超高速近接場分光法による金属ナノ構造の励起ダイナミクスの研究を行ってきました。

どうぞよろしくお願いいたします。



NEW STAFF

新人自己紹介

長谷川 淳也

はせがわ・じゅんや

理論・計算分子科学研究領域

理論・計算分子科学研究部門 客員准教授



京都大学福井謙一記念研究センターに研究室があります。京都大学工学研究科合成・生物化学専攻で学位を取得し、 Lund 大学で博士研究員を、出身の専攻で助教、講師を勤め現職に至ります。

電子状態理論に軸足を置いて、光機能性蛋白質の励起状態について研究しています。「なるほど!」という感動が研究動機です。

安藤 耕司

あんどう・こうじ

理論・計算分子科学研究領域

理論・計算分子科学研究部門 客員准教授



東京大学理学系研究科で学位取得(途中、京都大学で受託学生と学振DC・PD)、米国コロラド大学と理研で博士研究員、筑波大学物質工学系と英国パーミンガム大学で専任講師、京都大学理学研究科助教・准教授、と略歴だけで自己紹介欄が圧迫されますが、研究は凝縮系の電子移動とプロトン移動を中心に、励起移動とスピン遷移も視野に入れた分子理論と計算です。よろしく願い致します。

森下 徹也

もりした・てつや

理論・計算分子科学研究領域

理論・計算分子科学研究部門 客員准教授



慶應義塾大学で学位取得後、理研、学振(東大)を経て、現在は産総研に所属しています。専門は第一原理及び古典分子動力学計算による液体・ガラス物性の解明と、分子シミュレーションの新技术開発です。学位取得後一貫して分子シミュレーション関連の研究に携わっている関係で、分子研の計算機センターには長年お世話になっています。客員准教授として、分子研の計算科学分野の発展に貢献できればと思っています。

野田 進

のだ・すすむ

光分子科学研究領域

光分子科学第四研究部門 客員教授



2012年4月より、客員教授を務めさせていただいております。本務は、京都大学工学研究科です。フォトリック結晶を用いた光の自在な制御に取り組んでおります。大森先生や、大島先生、平等先生などと、協力して、フォトリック結晶と分子研の光研究を融合させていければと考えております。よろしく願い致します。

伊藤 敦

いとう・あつし

光分子科学研究領域

光分子科学第四研究部門 客員教授



東京大学理学系大学院で学位取得後、米国アルゴンヌ国立研究所、東京都臨床医学総合研究所を経て、現在東海大学工学部原子力工学科教授です。専門は、生体試料の軟X線イメージングで、UVSORに走査型軟X線顕微鏡(STXM)が導入されるに伴い、主にその利用面での協力のために着任しました。STXMはX線顕微鏡の利用分野における強力な装置として国内の他施設にない特徴を出すことができると思います。今後ともよろしく願いいたします。

坪内 雅明

つぼうち・まさあき

光分子科学研究領域

光分子科学第四研究部門 客員准教授



2003年まで総研大の学生として在籍して以来9年ぶりに客員准教授としてお世話になることになりました。鈴木俊法助教(現京大教授)指導の下で学位を取得し、その後理研、プリティッシュコロンビア大学を経て現在日本原子力研究開発機構でテラヘルツ光の発生とその分子科学的応用に関する研究を行っています。分子研では大島教授との協力研究をさせて頂いております。よろしく願いいたします。

朝倉哲郎

あらくら・てつお

物質分子科学研究領域
物質分子科学研究部門 客員教授



2012年4月1日付で客員教授となりました。東京工業大学で高分子のNMR構造解析で博士号を取得後、東京農工大学の蚕糸学科（当時）に奉職、現在、工学研究院生命工学専攻で、教育・研究にあたっています。奉職後、32年になります。分子研の超高磁場NMR装置に超高速固体NMRマイクロプローブを導入、絹の分子間構造を解明、その知見を基盤に絹を用いた再生医療材料の開発を図ろうとしています。

どうぞよろしくお願いいたします。

笹井宏明

ささい・ひろあき

生命・錯体分子科学研究領域
生命・錯体分子科学研究部門 客員教授



4月1日付で客員教授となりました。1985年に慶應義塾大学工学部で学位取得後、相模中央化学研究所、北海道大学薬学部、東京大学大学院薬学系研究科を経て、大阪大学産業科学研究所に赴任し15年になります。多機能な不斉触媒の開発や新規反応の開発が主な研究テーマです。研究の他に研究所の運営などでも協力できればと存じます。

よろしく申し上げます。

植村卓史

うえむら・たかし

生命・錯体分子科学研究領域
生命・錯体分子科学研究部門 客員准教授



2012年4月1日より分子研の客員准教授として着任いたしました。現在の研究は、京都大学工学研究科にて、サブナノサイズの規則性細孔を有する多孔性金属錯体を用いることで、高分子材料を巧みに制御する研究を行っています。特に、このような空間を自在に設計することで、高分子の精密合成や拘束高分子の特異物性の解明を行っております。微力ではありますが、錯体化学のメッカである分子科学研究所に少しでも貢献できればと思っております。

須藤雄気

すどう・ゆうき

生命・錯体分子科学研究領域
生命・錯体分子科学研究部門 客員准教授



北海道大学薬学部を卒業後、奈良先端科学技術大学院大学、名古屋工業大学、テキサス大学、名古屋大学、JSTさきがけを経て、名古屋大学理学研究科で活動しています。生物物理学的に、光受容タンパク質が関わる生命現象を研究する日本酒好きの人間です。これまで多くの分子研関係者と関わりを持ってきましたが、今回、自分自身が関わることになり、大きな責任と喜びを感じております。

飯田健二

いいだ・けんじ

理論・計算分子科学研究領域
理論分子科学第一研究部門 IMSフェロー



京都大学工学研究科分子工学専攻にて学位取得後、4月より信定研にてIMSフェローとしてお世話になっています。前研究室では、化学反応や固液界面に関して溶媒和に焦点を当て研究を行っておりました。今後は、密度汎関数法を用いてナノ粒子や固体の表面・界面における化学現象の解明に取り組みたいと考えております。

どうぞよろしくお願いいたします。

石村和也

いしむら・かずや

理論・計算分子科学研究領域
計算分子科学研究部門 特任研究員



2012年4月に神戸大学システム情報学研究科から計算分子科学研究拠点（TCCI）へ移りました。分子研勤務は4年ぶりです。岡崎の生活にはすぐに慣れました。京コンピュータ利用のための大規模量子化学計算手法とプログラム開発を行っていく予定です。

よろしく申し上げます。



NEW STAFF

新人自己紹介

西澤 宏 晃

にしざわ・ひろあき

理論・計算分子科学研究領域
計算分子科学研究部門（早稲田大学理工学術院）
特任研究員

早稲田大学大学院先進理工学研究科にて学位を取得し、4月より特任研究員として着任いたしました。学生時代から量子化学を専攻し、非断熱効果を取り扱う理論開発に取り組んできました。現在は大規模系分子動力学法に関する理論開発という異なる研究を行っていますが、これまでの経験を生かして研究を進めています。

よろしくお願いいたします。

水口 朋 子

みずぐち・ともこ

理論・計算分子科学研究領域
計算分子科学研究部門（京都大学化学研究所）
特任研究員

九州大学にて学位取得後、フランスのリール第一大学を経て、今年の4月に分子研の特任研究員として着任いたしました。これまでは、分子動力学シミュレーションを用いてガス転移の研究を行ってきました。今後は、シミュレーションで膜タンパク質の自由エネルギー解析を行い、安定性を調べます。

よろしくお願いいたします。

新井 秀 実

あらい・ひでみ

極端紫外光研究施設
光源加速器開発研究部門 研究員

東京大学大学院新領域創成科学研究科にて学位取得後、2012年4月1日付で分子研UVSORの博士研究員に着任致しました。学生時代は溶液化学を専門とした実験的研究を行ってきました。これからは、X線顕微分光を利用した研究を進めて行く予定です。今までとは異なる領域での研究となり、勉強しなければならないことは多いですが、どうぞよろしくお願いいたします。

脇 稔

わき・みのる

物質分子科学研究領域
電子構造研究部門 特任研究員

富山大学薬学部を卒業して薬剤師免許および同大学大学院にて博士号を取得、その後、豊田中央研究所での客員研究員を経て、2012年の4月より、分子研の唯研究室に特任研究員として着任いたしました。これまでに学んできた分子認識化学や材料化学の知見を活かした新規固体触媒系の構築を目指し、研究を推進していきたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

櫻井 理 恵

さくらい・りえ

分子スケールナノサイエンスセンター
ナノ分子科学研究部門 研究員

2012年3月に北海道大学理学院化学専攻錯体化学研究室で学位取得後、2012年4月1日より分子研永田グループの博士研究員として着任いたしました。学生時代も金属錯体の研究をして参りましたが、現在は合成中心の研究となっており、新しい刺激を受けています。どうぞよろしくお願いいたします。

永 長 誠

ながおさ・まこと

生命・錯体分子科学研究領域
錯体触媒研究部門 研究員

京都大学で学位を取得し、今年4月から分子研魚住Gの研究員となりました。金属触媒を用いた不斉反応の開発を主なテーマとして研究を行っています。

まだまだ未熟者ではありますが、よろしくお願いいたします。

三浦 崇宏

みうら・たかひろ

分子スケールナノサイエンスセンター
ナノ分子科学研究部門 技術支援員



今年3月まで総研大の大学院生として分子研に通っていましたが、4月より技術支援員という形で勤務させていただくことになりました。岡崎の暑い夏に負けず頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

稲垣 恵子

いながき・けいこ

理論・計算分子科学研究領域
計算分子科学研究部門 事務支援員



4月より計算分子科学研究拠点の事務支援員としてお世話になっております。子育て真っ最中ですが、「仕事と育児の両立」を目指し、日々奮闘中です。前職とは全く違う仕事に戸惑うこともあります。周りの方々の親切なサポートにより徐々に仕事にも慣れてきました。

少しでもお役に立てるよう努力していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

山崎 由実

やまさき・ゆみ

光分子科学研究領域
光分子科学第一研究部門 事務支援員



平成24年4月16日より総合研究大学院大学・物理科学研究科長、岡本裕巳先生のもと事務支援員としてお世話になっております。分子研での仕事は約5年ぶり、岡本Gメンバーや顔なじみの方々からの温かいサポートに感謝しながら、初めての職務に不安と緊張、そして新鮮な気持ちで取り組んでおります。微力ながらも「広い視野を備えた物理科学研究者の育成」のお手伝いができればと思います。

今後ともよろしくお願いいたします。

CHALUPSKY, Jakub

理論・計算分子科学研究領域
理論分子科学第一研究部門 IMSフェロー



In June of 2011 I received my Ph.D. at Charles University in Prague under Dr. Zdeněk Havlas, studying electronic states and their properties of organic and bioinorganic molecules. From April 2012, I work as a postdoc in group of Professor Yanai, concentrating on applications of DMRG calculations and program development.

森 義治

もり・よしはる

理論・計算分子科学研究領域
計算分子科学研究部門 特任助教



名古屋大学にて学位を取得後、日本学術振興会特別研究員を経て2012年5月1日付けで分子研奥村グループの特任助教に着任致しました。これまで生体分子系の分子シミュレーションを中心に研究を進めて参りました。

分子科学研究所の充実した設備を生かし、分子シミュレーションによる生体分子機能の解明に貢献したいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

藤原 正規

ふじわら・まさのり

光分子科学研究領域
光分子科学第一研究部門 特任助教



2012年に東京工業大学で学位取得後、5月1日に分子研光分子科学研究領域の特任助教として着任しました。これまでは温度数Kで一個のタンパク質の発光を分光し、分子集団では見えないタンパク質のダイナミクスを観測してきました。分子研では逆に、物質の物性や反応性を理解する上で重要な低分子を対象に、光による分子集団の運動制御に取り組みたいと考えています。

よろしくお願いいたします。



浜坂 剛

はまさか・ごう

生命・錯体分子科学研究領域
錯体触媒研究部門 助教



2008年4月より生命・錯体分子科学研究領域 錯体触媒研究部門の博士研究員としてお世話になり、2012年5月1日付けで同部門の助教に着任いたしました。分子研での研究生活は5年目になります。

新人と呼べるか否かわかりませんが、新人のつもりで、気を引き締め、さらに研究に邁進していきたいと考えております。よろしくお願い致します。

金子 靖

かねこ・やすし

分子スケールナノサイエンスセンター
ナノプラット室 特任専門員



これまで名古屋大学、名古屋工業大学で産学官連携活動に携わり、この7月から、分子研が代表機関を務める文部科学省事業の分子・物質合成プラットフォームの運営マネージャーを務めることになりました。

この事業では外部の方に研究設備をご利用いただくため、所内の先生方や職員の方にこれからお世話になると思いますが、今後ともよろしくお願い致します。

早出 彩

そうで・あや

物質分子科学研究領域
電子構造研究部門 特任研究員



カナダのuniversity of British Columbiaで学位取得、ドイツのRuhr Universität BochumでPost-doctoral fellowを経て、2012年の5月に分子研に異動して参りました。燃料電池に使われる白金触媒の動きをX線で精査し、少しでも自然エネルギー開発に貢献できればと思っております。よろしくお願い致します。

WANG, Heng

物質分子科学研究領域
電子構造研究部門 特任研究員



Hello! I will introduce myself briefly.

I got my master degree from Zhejiang University, which located in the garden city of Hangzhou, about 200 km south of Shanghai. In 2008, the Global-COE program in Chemistry at Nagoya University launched a doctoral program for international students. This program provides intensive opportunities of study and research. So I joined Awaga Lab at Nagoya University to study the new rechargeable lithium batteries. I obtained my doctoral degree at physical chemistry in 2011. After that I became a postdoctoral fellow at Department of Chemistry, Nagoya University.

From this May, I joined Yokoyama Lab to study the new fuel cells. I am very pleased and honored to join the IMS, where not only provide me with a growth exercise, but also give me the chance to meet more new colleagues, new friends.

安井 裕子

やすい・ゆうこ

物質分子科学研究領域
電子構造研究部門 事務支援員



2012年6月1日より、物質分子科学研究領域電子構造部門の横山利彦先生の下で、総研大担当の事務支援員としてお世話になっております。分子研にて勤めさせていただけることを大変光栄に感じております。

至らぬ点が多々あるかと存じますが、精一杯努めてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。